

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
京成杯オータムハンデ	ハンデ	GIII	中山	芝1600m	良想定	平坦	中荒れ	C

※文字色の意味

2018/9/9

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	血統	適性	能力	データ	ペース	総合	人気	印	結果	大駆け
1	ミュゼイリアン	石川	スクリーンヒーロー	ロベルト	エルコンドルパサー	キングマンボ	B	C	E	E	E	E	13	消	13	0
2	ロジクライ	浜中	ハーツクライ	サンデーサイレンス	マキャベリアン	ミスターオアシス	C	C	B	B	C	C	1	△4	3	-2
3	トーセンデューク	勝浦	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	フェアリーキング	ノーザンダンサー	B	D	D	E	E	E	12	消	11	1
4	トウショウドラフタ	北村宏	アンライバルド	サンデーサイレンス	ジェイドロバリー	ミスターオアシス	C	D	D	E	E	E	14	消	6	8
5	ロードクエスト	三浦	マツリダゴッホ	サンデーサイレンス	チーフベアハート	ダンジグ	A	B	C	B	B	B	5	▲	4	1
6	ショウナンアンセム	池添	ジャングルポケット	グレイソヴリン	クロフネ	ヴァイスリージェント	C	C	C	B	E	D	9	消	15	-6
7	ヒーズインラブ	藤岡康	ハービンジャー	デインヒル	インクルード	アックアック	B	B	B	B	A	B	4	☆	9	-5
8	ダイワリベラル	菊沢	ダイワメジャー	サンデーサイレンス	トニービン	グレイソヴリン	B	B	E	E	E	E	15	消	12	3
9	ヤングマンパワー	石橋脩	スニツツェル	デインヒル	サンデーサイレンス	サンデーサイレンス	B	C	C	B	B	C	7	△1	8	-1
10	ミッキーグロリー	ルメール	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	ホワイトマズル	リファール	B	A	C	B	A	A	1	◎	1	0
11	ストームシー	大野	アドマイヤムーン	ミスターオアシス	ゼンノエルシド	ニジンスキー	C	B	C	B	C	C	10	△3	7	3
12	ウインガニオン	津村	ステイゴールド	サンデーサイレンス	ポリッシュネイビー	ダンジグ	A	C	C	B	D	D	11	消	10	1
13	ゴールドサーベラス	柴山	スクリーンヒーロー	ロベルト	ディエシス	エタン	B	A	C	D	B	B	8	○	5	3
14	ワントゥワン	戸崎	ディーブインパクト	サンデーサイレンス	ファルブラヴ	ノーザンダンサー	B	C	C	B	C	C	3	△2	2	1
15	ベストダンク	鮫島駿	タイキシャトル	ヘイロー	スペシャルウィーク	サンデーサイレンス	C	D	D	D	E	E	6	消	14	-8

※背景色付は特注血統保持馬(名前欄に色付きは母母が保持)

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW
<p>日本のマイル戦のレコード時計がこの京成杯オータムハンデで記録されていることからわかるように、この開催の中山競馬場の芝はオール芝でとんでもなく速いというのが前提として必要な情報。2014年の中山競馬場の路盤改修と開幕週から差しが効きやすくなるエアレーション作業の影響で2015年と2016年は1分33秒台の時計になったが、エアレーション作業も馴染んできた2017年はハイペースもあつたが1分31秒台の決着に。最近のJRAの競馬場はどこを見ても一昔前の開幕週から差しが効くエアレーション馬場というイメージがなくなり、開幕週から最終週までずっと一定レベルの高速馬場という傾向が強くなってきている(特に小倉競馬場はこの傾向が極端)。中山競馬場も恐らくは昨年見せた高速化がさらに進むはずで、そうならば今年の京成杯オータムハンデも1分31秒台の決着になる可能性は十分にある。</p> <p>そんな馬場を踏まえた上で考えたいのが「現代競馬の中山芝1600mの傾向」だ。2コーナー部分の引込み線からスタートしてお椀型の外回りコースを1周回る中山芝1600mはJRA全場の中でもかなり特殊なコース形態。最初のコーナーがスタート直後にあるので外枠の馬は外を回される事になり、断然内枠先行馬が有利というのが一昔前の定説だったが、最近のこのコースの傾向を見ても内枠有利、外枠不利という構図は一切見られない。時計のかかる冬の中山芝ではインをロスなく回る馬がそのまま粘り込むというケースが目立つが、秋開催の超高速馬場では先行馬も前が止まらないという意識でぶっ飛ばすので予想以上に差しが決まる。今年も外枠のウインガニオンが何れも逃げるような展開が予想されますし、まず前半ペースは緩まそう。そう考えれば高速馬場での差し決着になりそう、スムーズに捌いて最速上がりで差し込んでこれそんな馬を狙えばいいだろう。</p> <p>大混戦に見えるメンバー構成だが、ここは新鋭の◎ミッキーグロリーが突き抜ける可能性が高い。3走前に乗ったボウマン騎手が「とんでもなく強い」と大絶賛していた馬で、ゴールドサーベラスを子供扱いして突き放した内容は本格化を感じさせる内容。その時にボウマンが「溜めて溜めて末脚を活かしてこそ良さが出る」とコメントを出していたが、ここ2戦はそれとは正反対の競馬。2走前は超高速馬場で前付けしないと無理と判断したルメールが外枠から積極的に乗って脚が溜まらずに少差の負け。前走はタフ馬場のミドルペース戦を明らかに早目の仕掛けで馬の力だけで完勝。前走の馬場やペースを考えると普通の馬ならばバテて大敗していてもおかしくなく、絶不調だった内田騎手を馬の力だけで勝たせたような内容だった。</p> <p>母メリッサは6歳で重賞を勝った遅咲きタイプ。この馬も5歳になって一気に本格化してきた印象で、前走内容や3走前の内容を見てもGIIIならまず勝ちになると見て良い。3走前の圧勝ぶりを見ても中山マイルはベスト舞台と見て良いですし、脚を溜めて末脚を活かす競馬をする事でここ2戦よりも一気にパフォーマンスを上げてきそう。今回は絶不調騎手からリーディング争い騎手への乗り替わりは大幅プラスでしょうし、血統的にも初重賞挑戦時の期待値は絶大。加えてタフ馬場の1800mの早仕掛けレースからの距離短縮というローテーションも絶好に見えますし、中団から末脚を活かす競馬をするならばこれ以上ない絶好枠。この条件でこの馬なら鞍上がミスをするとはまず思えないですし、ここは外目から最速上がりを使つての勝ち負けは堅い。</p>
REVIEW
<p>中山芝はエアレーション作業の影響と直線追い風のおかげで開幕週はかなり差しが決まる馬場。どのレースを見ても直線部分で最後の1ハロンが最も速かったというのを見ても追い風の影響がすごかったか。このレースは先行馬が揃っていたが、ウインガニオンが行ききれなかったことでペースはそこまで速くならず、それでも決まり手が差し追い込みだったあたり京成杯オータムハンデはとにかく差しが決まるレースということなんだろう。</p> <p>本命馬のミッキーグロリーは馬の能力、適性も読み通りでしたが、この馬場とペースを読みきっていたルメール騎手の騎乗も素晴らしい。一方で対抗に推したゴールドサーベラスは明らかに早急かけ。一世一代の重賞制覇のチャンスだっただけに鞍上の能力差に泣いた感じ。</p>

血統						
<p>サンデーサイレンス×ボードルルーラーという配合の馬の成績が良い。ディーブインパクト産駒もまずまずの好走率。なんだかんだでタフな舞台ということもあってロベルトの血を持っている馬の活躍も目立ちます。</p>						
適性						
<p>スローになる事はないマイル戦で、過去5年で逃げ馬が1頭も馬券に絡んでいない。淀みなく流れて最後は差しが決まる高速決着になりやすい一戦。スムーズに捌いて来れる差し馬が有利なレースと言って良さそうだ。</p>						
データ						
<p>× 単勝30倍以上の3歳~6歳馬(0-0-0-38) × 牝馬で当日8番人気以下(0-0-0-11) × 54kg~56.5kgで当日10番人気以下(0-0-0-37) × 前走OP特別で2着以下(0-1-0-36) × 前走OP特別だった馬で当日3番人気以下(0-1-0-38) × 前走1400m以下で当日5番人気以下(0-0-0-24) × 間隔中1週以内で当日3番人気以下(0-0-0-25)</p>						
ペース						
<p>ウインガニオンが何が何でも逃げる構え。ショウナンアンセムあたりも出して行きそうペースは速い。最後はスムーズに好位~中団から決め手を活かせる馬が有利になりそう。</p>						
危険な馬						
<p>ロジクライ=前走は休み明け、ハイペース、左回りとハーツクライ産駒が走るための全ての要素が揃っていた。体力を活かしてこそ馬で短い直線での決め手勝負は合わない。前走で疲弊の大きなレースだけにハーツクライ産駒なら走れない可能性もある。</p>						
妙味大な馬						
<p>ミッキーグロリー=3走前の1000万勝ちでボウマンを興奮させた馬。その時のように脚を溜めて末脚を活かす競馬が良さそうだがここ2戦はそうではない戦法での好走。特に前走はタフ馬場での早仕掛けで馬の力だけで完勝。差しの効きやすそうな条件、展開で絶好枠。</p>						
穴馬						
<p>ゴールドサーベラス=オープン昇級初戦のダービー卿CTで外から猛烈に追い込んで少差。とにかく中山コースだけ走る馬である時の内容から見てもここなら通用していいはず。近走は適性外条件なので完全に外視できそう。今回は満を持しての中山芝1600m。</p>						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>タイム</th> <th>上3F</th> <th>下3F</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1:32:04</td> <td>34.7</td> <td>34.3</td> </tr> </tbody> </table>	タイム	上3F	下3F	1:32:04	34.7	34.3
タイム	上3F	下3F				
1:32:04	34.7	34.3				
ラップタイム						
<p>12.5 - 10.7 - 11.5 - 12.2 - 11.2 - 11.4 - 11.5 - 11.4</p>						

Copyright (C) 2014 - KAZ All Rights Reserved. 本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

